

## 18. 高知県看護協会との連携—生涯学習の拠点としての役割

### 1) 看護協会役員および委員

本学の教員は高知県看護協会の役員および委員の役割を担っており、高知県の看護の質を高めるために各分野において活動を行ってきた。令和元年度は11名の教員が以下の委員を担当した(表1参照)。

表1 高知県看護協会役員・委員・受託事業担当者

役員・委員名	教員名
高知県ナースセンター運営協議会 委員	藤田 佐和
第1副会長	森下 安子
在宅ケア領域看護師研修検討会 委員	
特別委員会：地域包括ケア検討委員会 委員	
常任委員会：災害看護委員会 委員	竹崎 久美子
新人看護職員研修検討会 委員	長戸 和子
保健師助産師看護師実習指導者講習検討会 委員	森本 悦子
職能委員会：助産師職能委員会 委員	嶋岡 暢希
予備代議員	渡邊 聡子
高知県小児救急電話相談事業 委員	高谷 恭子
特別委員会：訪問看護ステーション運営委員会 委員	森下 幸子
在宅ケア領域看護師研修検討会 委員	
職能委員会：保健師職能委員会 委員	小澤 若菜
特別委員会：ナースセンター委員会 委員	
特別委員会：看護研究倫理審査委員会 委員	西内 舞里

### 2) 研修会および講習会

#### (1) 認定看護管理者研修

本年度はファーストレベルのみが開催され、セカンドレベルは開催されなかった。本学の教員が関わった認定看護管理者研修修了者や、本学大学院の看護管理学領域を修了して認定看護管理者の資格を獲得した者が増え、それら資格を持った修了生が中心となり講師を務めるように本研修は運営されている。その中で本学教員は、それら修了生を支える役割として、一部講義等を担当して継続的な研修支援を行っている。

表2 認定管理者研修担当者

教員名、講義名	日程、内容
山田 覚：組織マネジメント概論	日程：令和元年年5月17日、18日 ・組織マネジメントに関する基礎知識 ・看護管理の基礎知識
中山 福子：論文・レポートの書き方	日程：令和元年5月18日 ・論文・レポートとは ・構成の基本 ・文献の活用 ・本文の記述

森下 安子：ヘルスケアサービスにおける看護の役割	日程：令和元年5月20日 ・看看連携 ・地域連携における看護職の役割 ・保健医療福祉関連職種を理解
森下 安子：保健医療福祉サービスの提供体制	日程：令和元年5月31日 ・保健医療福祉制度の体系 地域包括ケアシステム 地域共生社会

## (2) 高知県保健師助産師看護師実習指導者講習会

看護教育における実習の意義ならびに実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるように必要な知識、技術を習得することを目的に開催された。15名の教員が講師として参加した（表3参照）。

表3 高知県保健師助産師看護師実習指導者講習

科目	時間数	教員名
看護論	3時間	森本 悦子
看護理論の実践への活用	3時間	
ロイ看護論	3時間	佐東 美緒
セルフケア理論	3時間	畦地 博子
小児看護学	3時間	高谷 恭子
看護倫理	3時間	有田 直子
ヘルスプロモーション	3時間	小澤 若菜
精神看護学	3時間	田井 雅子
在宅看護学	3時間	川上 理子
老年看護学	3時間	竹崎 久美子
看護過程	3時間	瓜生 浩子
	3時間	中井 美喜子
看護過程における援助論	3時間	内川 洋子
母性看護学	3時間	嶋岡 暢希
家族ケア	3時間	坂元 綾
看護研究	6時間	池添 志乃

### (3) 臨床看護研究基礎研修

本研修は、①臨床における看護研究の意義と研究的視点を学ぶ、②看護研究の基礎知識やプロセスを学ぶ、③看護研究の臨床への活用について学ぶ目的で開催された。5名の教員が講師として参加した（表4参照）。

表4 臨床看護研究基礎研修

研修名	日程	教員名
看護研究の基礎知識	6時間	長戸 和子 高谷 恭子
看護研究における倫理的配慮	3時間	竹崎久美子
臨床への研究の活用	3時間	瓜生 浩子
看護研究論文（症例研究を含む）の書き方	3時間	田井 雅子

### (4) 高知県看護協会の教育プログラムにおける講師

高知県看護協会が主催する看護職員現任者を対象とした教育プログラムにおいて、4名の教員が講師として参加した（表5参照）。

表5 現任者を対象とした教育プログラム

研修名／内容	時間数	教員名
新人助産師合同研修プログラム／周産期医療の動向 職業倫理	4.5時間	嶋岡 暢希
地域包括ケア推進のための人材育成研修会／在宅移行期の看護師の役割	3時間	森下 安子
医療・介護・福祉施設職員研修／地域医療構想における医療と介護・福祉の連携	3時間	森下 安子
看護管理者支援研修会 看護管理者入門ビギナー・ミドルマネージャーコース／ 地域包括ケアの推進を支援する病院・地域における多職種連携	3時間	森下 安子
訪問看護管理研修／訪問看護ステーションの管理と運営	6時間	森下 幸子
訪問看護管理研修／ 訪問看護管理アクションプランの発表と意見交換	3時間	森下 幸子
訪問看護管理研修／ 訪問看護管理アクションプランシートの評価と修正	3時間	森下 幸子
医療的ケア児等支援者・医療的ケア児等コーディネーター養成研修 ／総論・支援に必要な概念	1時間	佐東 美緒
医療的ケア児等支援者・医療的ケア児等コーディネーター養成研修 ／医療2 訪問看護の仕組み	1時間	森下 幸子
三職能合同研修／基調講演 地域包括ケアシステムの進化・深化に向けて 退院支援事業から見えてきた高知県の課題について	1時間	森下 安子
三職能合同研修／シンポジウム座長 三職能事例検討会や多職種の合同事業を通して気づいたこと	1時間 15分	森下 安子
三職能合同研修／講演 子どもの生きる力を支えるために、人の生涯に関わる看護職者に できること-みんなで子どもの生きる力を育むために-	1時間 10分	佐東 美緒
三職能合同研修／まとめ	10分	佐東 美緒

## (5) 災害看護支援ナース育成研修

7年目となる高知県看護協会地域災害支援ナース育成研修では、研修時間を3時間に短縮して2年目であった。従来の初回受講者編に対して継続受講者編では、県下の支部単位で支部の中核となる災害拠点病院・救護病院のDMATチームが講師となり、支部独自の救護所開設訓練の内容で3か所で開催された(幡多支部、須崎・窪川地区支部、土佐山田・本山・南国地区支部)。当初より本研修で目指していた「支部の中で、近隣同士の顔の見える関係作り」や「実際の発災時に実働できる仕組みづくり」が実現されつつある。

看護学部からは公開講座でもあるフォローアップ研修に大川教授が、また地域災害支援ナース育成研修は引き続き竹崎教授が講師を務めている。竹崎教授については、看護協会の災害看護委員に令和元年度から復帰し、研修会の企画段階から参画している。

研修会の参加者については、かろうじて200人台を維持しているが、平成28年の熊本地震、平成30年度の開講時間の短縮などの単発的な要因には受講者数が回復するが、全般に減少傾向である。継続編についても、救護所立ち上げだけでなく、一般市民が既に始めている避難所立ち上げ訓練などにも対応できる看護の活動について研修内容を変えていく必要があるだろう。今後も受講者のニーズや高知県看護協会の意向を踏まえながら、大学の果たすべき役割について検討しながら研修会の開催支援を行っていく必要があると考えている。

また令和元年度は、前年度県看護協会災害看護委員会が完成させた『広域自然災害発生時における災害支援ナース受援ガイドライン(医療施設編)』の内容を周知するための研修会も企画した。これは、県下の医療機関において、南海地震発生時には「医療従事者は、自分の職場に限らず、応援できるところで活動する」という方針が浸透しつつあり、地域災害支援ナースが最寄りの医療機関にも応援に入ることが現実味を帯びてきたことに起因する。その時、支援する側も支援を受ける側も、どのような意思疎通や調整をすればいいか、またそれらをスムーズに行い、上手に「受援」するためには、医療機関は日ごろどのような備えをしておけばいいか、といった内容が書かれている。

実際の研修には、応援を受け入れる側の管理者を中心に受講者があることを予測していたが、実際には、午前の地域災害支援ナースの研修を受けた、活動する立場の受講者も含まれており、2回目以降は支援者の立場でも受援者側の状況に応じた支援の申し出ができることを意識した内容とした。

「地域災害支援ナース」の育成そのものが、「できる人から、できるところから」がモットーであるので、今後も引き続き、「これから必要とされることが何か」を見据えて、高知県看護協会とともに活動を進めていきたい。

表1 平成30年度 地域災害支援ナース育成研修 受講者一覧

	地区支部	日時	場所	R 元年参加数	参考			
					H30	H29	H28	H27
初回受講者編	幡多地区支部	—	—	—	29	53	53	38
	須崎・窪川地区支部	—	—	—	—	—	33	26
	吾川・佐川地区支部	—	—	—	33	35	20	19
	土佐山田・本山・南国地区支部	—	—	—	40	31	53	35
	室戸・安芸地区支部	7/14(土)	県立あき総合病院	29	—	—	16	26
	高知市北・西地区支部	8/24(土)	高知県看護協会	28	76	—	—	—
	高知市南・東地区支部 高知市	12/7(土)	高知県看護協会	46	100	—	—	—
初回編受講者合計				103	278	119	175	144
継続編	幡多地区支部	7/6(土)	四万十市民病院*	(25)	—	—	30	—
	須崎・窪川地区支部	10/26(土)	須崎くろしお病院*	(30)	41	43	—	—
	吾川・佐川地区支部	9/28(土)	土佐市民病院	22				
	土佐山田・本山・南国地区支部	10/19(土)	JA高知病院*	(19)				
	室戸・安芸地区支部	—	—	—	33	31	—	21
	高知市 フォローアップ編	12/4(土)	高知県看護協会	25	103	44	49	38
継続編受講者合計				96+25	177	118	79	59
初回編+継続編+フォローアップ編 受講者合計				224	455	237	254	203

\*：支部が独自で開講した研修会

表2 令和元年度 受援ガイドライン研修会 受講者一覧

	地区支部	日時	場所	R 元年参加数
	幡多地区支部	7/6(土)午後	四万十市民病院	25
	室戸・安芸地区支部	7/14(土) 午後	県立あき総合病院	14
	高知市	8/24(土) 午後	高知県看護協会	36
合計				75

(6) 看護研究学会

高知県看護協会が主催する看護研究学会での講演において、1名の教員が座長を務める予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から学会開催が中止された。

プログラム名	日程	教員名
講演/座長 テーマ:認知症高齢者を地域で支える	1.5 時間	森下 安子